

問2(ウ)

——線②に関して、Kさんは次の表Ⅱと表Ⅲを作成するなかで、東北地方の太平洋側の県の米の収穫量は、日本海側の県の収穫量よりも少ないことを知った。太平洋側の県の米の収穫量が少ない理由を、25字以内で書きなさい。解答にあたっては、表Ⅱの気候条件から、特に夏の気候に着目し、気候の違いをもたらしている現象の名称を明らかにしたうえで、それが表Ⅲの米の収穫量に差をもたらすことと関連づけて書くこと。なお、文末は句点(。)で終わり、全体の字数に入れること。

秋田市

	5月	6月	7月	8月	9月	10月
気温(℃)	14.6	19.2	22.9	24.9	20.4	14.0
降水量(mm)	122.8	117.7	188.2	176.9	160.3	157.2
日照時間(時間)	182.0	176.2	150.3	193.0	153.8	145.4

宮古市

	5月	6月	7月	8月	9月	10月
気温(℃)	13.0	16.0	19.8	22.2	18.8	13.3
降水量(mm)	93.9	116.4	159.0	171.3	213.7	125.7
日照時間(時間)	181.2	149.4	133.8	160.6	128.0	155.2



表Ⅲ東北地方の各県の米の収穫量(t)(2013年産)

青森県	岩手県	宮城県
302,600	300,300	398,500
秋田県	山形県	福島県
529,100	415,300	382,600

表Ⅱから、太平洋側に位置する岩手県宮古市の5～8月の気温・降水量・日照時間をみると、いずれも日本海側に位置する秋田県秋田市よりも低いことがわかる。これは「やませ」という北海道や東北地方の太平洋側に夏にふく、冷たく湿った北東の風のためである。そのため海に面した地域に霧が発生し、日照時間が減って気温が上がらず、冷害が発生しやすくなる。この影響が米の収穫量としてあらわれ、表Ⅲのように太平洋側の県の米の収穫量が、日本海側の県よりも少ないということになる。

(例) やませの影響を受けて、夏の日照時間が短くなるから。(25字)